

サポート対象バージョンのJavaへ 入れ替える手順について[JRE8Update71]編

電子入札システム等でご利用いただくためのJavaをサポート対象バージョンへ入れ替える場合は、以下の手順に沿って全てのバージョンのJava実行環境（JRE）をアンインストール後、再度インストールを行ってください。本手順書では[JRE8Update71]へ入れ替える場合の手順についてご説明します。

◆操作前注意◆

- ・ 管理者権限のある半角英数字のユーザ名でWindowsにログインし、作業を行ってください。

≪Java実行環境（JRE）アンインストール手順≫

1 [コントロールパネル]-[プログラムと機能]を開きます。

2 [Java～～UpdateXX]を、アンインストールします。

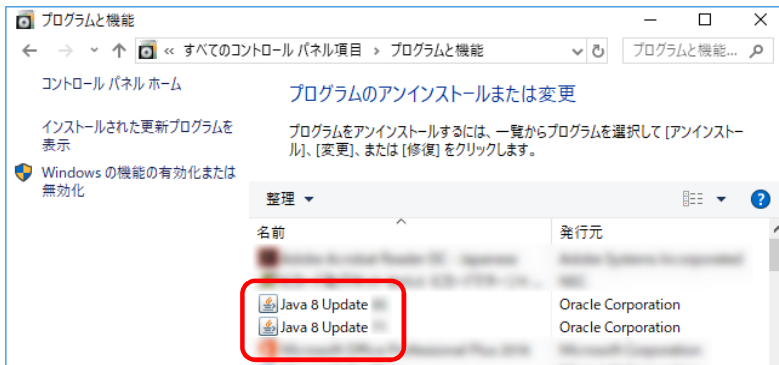
▼インストールされているJava実行環境（JRE）のバージョンは、お客様の環境により異なります▼

◆ご注意◆

- ・ 複数のJava実行環境（JRE）がインストールされている場合はバージョンの高いものから順にアンインストールしてください。
- ・ 当社AOSignサービスで利用可能なコアシステム対応のJava実行環境（JRE）のバージョンは、下記URLからご確認いただけます。

<http://www.ninsho.co.jp/aosign/apply/hw-sw.html>

他のバージョンのJava実行環境（JRE）がインストールされている場合は他のシステムで利用している場合も想定されますので、アンインストールしても問題ないか御社のシステム担当部門などへご確認のうえ作業を行ってください。



▼複数のJava実行環境（JRE）が入っている場合は、同様の手順を繰り返しアンインストールしてください▼

3 パソコンを再起動し、管理者権限のある半角英数字のユーザ名でWindowsへログインします。

以上で、Java実行環境（JRE）のアンインストールは完了です。
引き続き、次の手順に沿ってJava実行環境（JRE）の再インストールを行ってください。

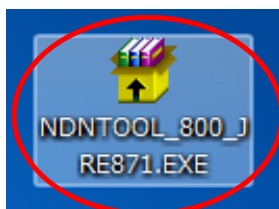
◆**ご注意**◆

ご利用いただく発注機関でサポートされているJava実行環境（JRE）のバージョンをご確認のうえ、インストールを行ってください。

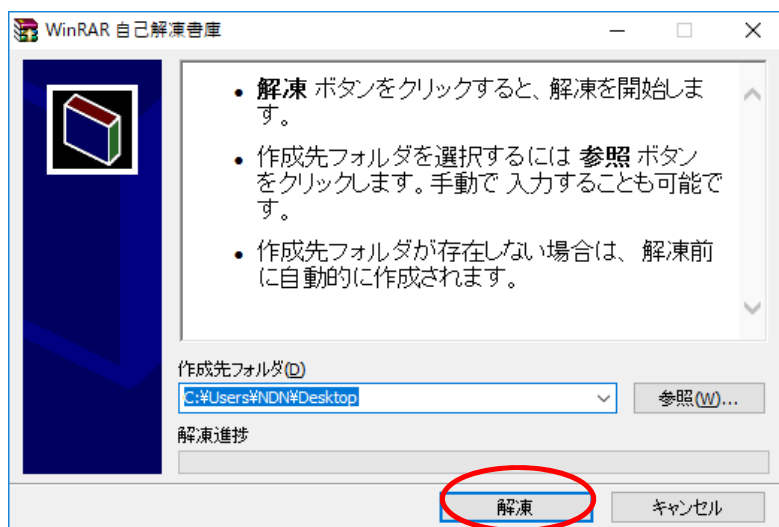
- 1 下記URLより、JRE8Update71をダウンロードします。
<https://www.ninsho.co.jp/aosign/forsubscriber/download2.html>

NDNプログラム定期更新ツール ※1 (Ver. 8.0.25 / 更新日: 2018/08/20)	取扱説明書	
【JRE8.0.25】用 ダウンロード サイズ: 2 MB ※2	インストール編 ダウンロード	日常運用編 ダウンロード 全JRE共通
【JRE8.0.65】用 ダウンロード サイズ: 2 MB ※2	インストール編 ダウンロード	
【JRE8.0.71】用 ダウンロード サイズ: 2 MB ※2	インストール編 ダウンロード	

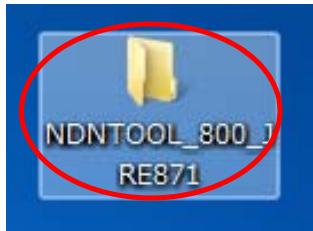
- 2 ダウンロードした[NDNTOOL_800_JRE871.EXE]をダブルクリックします。



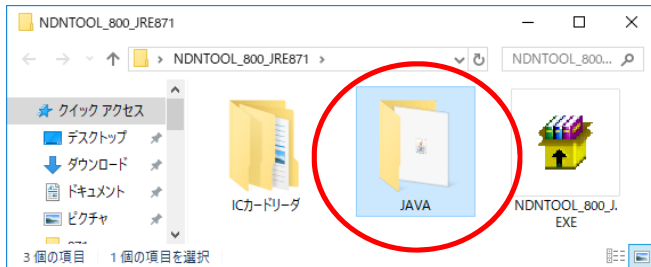
- 3 解凍先を確認後、[解凍]をクリックします。



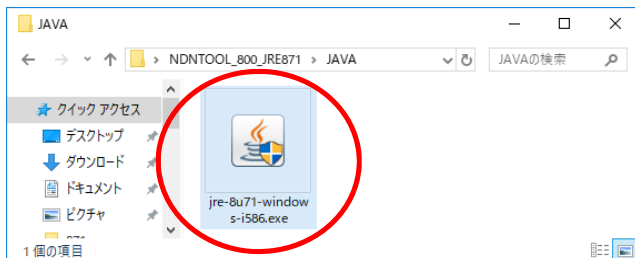
4 解凍先に作成された[NDNTOOL_800_JRE871]フォルダを開きます。



5 [JAVA]フォルダを開きます。



6 [jre-8u71-windows-i586.exe]をダブルクリックします。



▼ユーザーアカウント制御が表示された場合は[はい(Y)]をクリックしてください▼

7 [インストール(I) >]をクリックします。



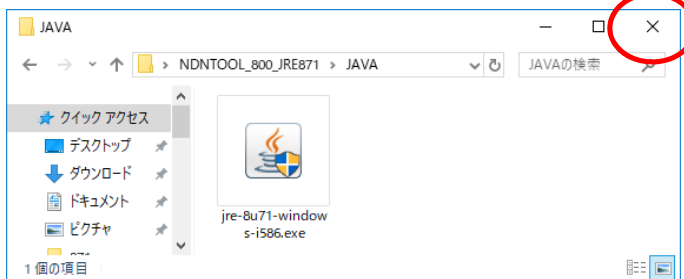
8 [閉じる(C)]をクリックします。



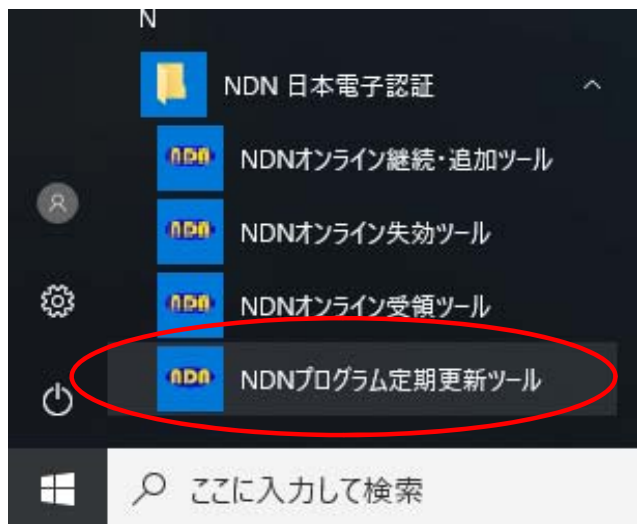
▼以下の画面が表示された場合は、[×]をクリックして画面を閉じてください▼



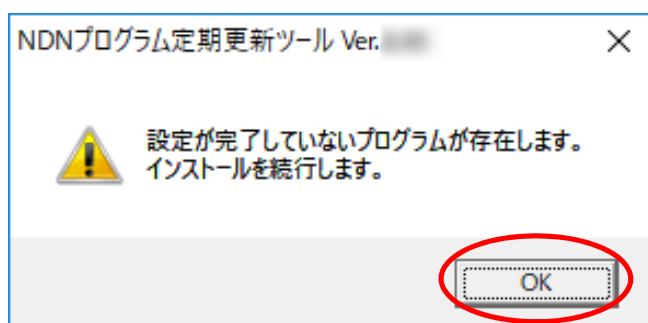
9 [×]をクリックします。



- 10 [スタート]-[すべてのアプリ]-[NDN 日本電子認証]-[NDNプログラム定期更新ツール]をクリックします。

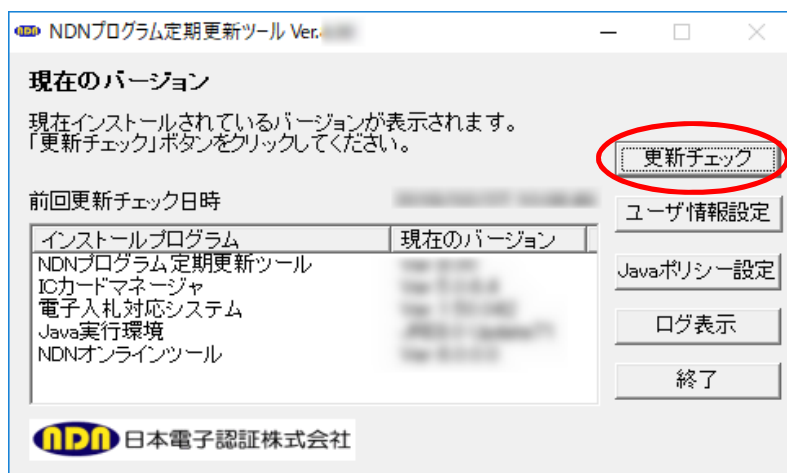


- 11 [OK]をクリックします。

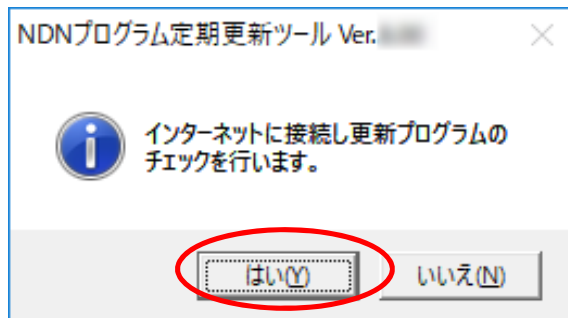


▼ユーザーアカウント制御が表示された場合は[はい(Y)]をクリックしてください▼

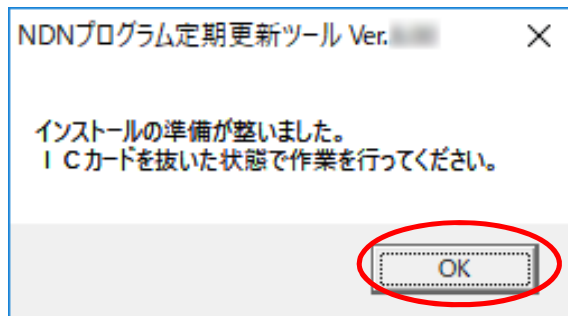
- 12 [更新チェック]をクリックします。



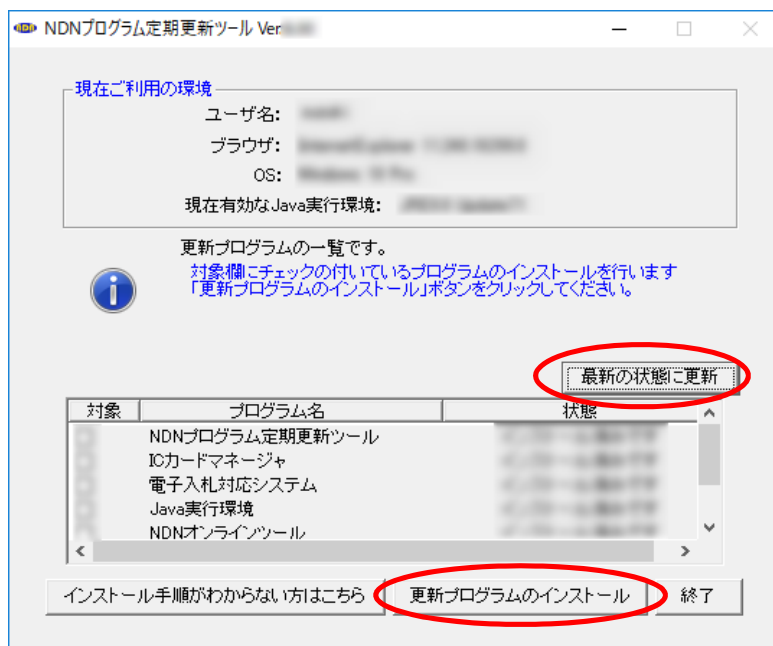
13 [はい(Y)]をクリックします。



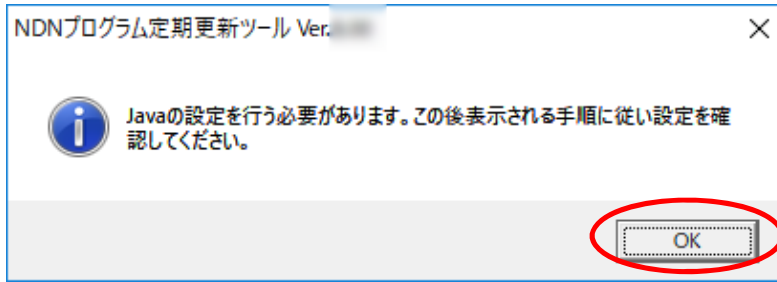
14 [OK]をクリックします。



15 [最新の状態に更新]をクリックし、[更新プログラムのインストール]をクリックします。



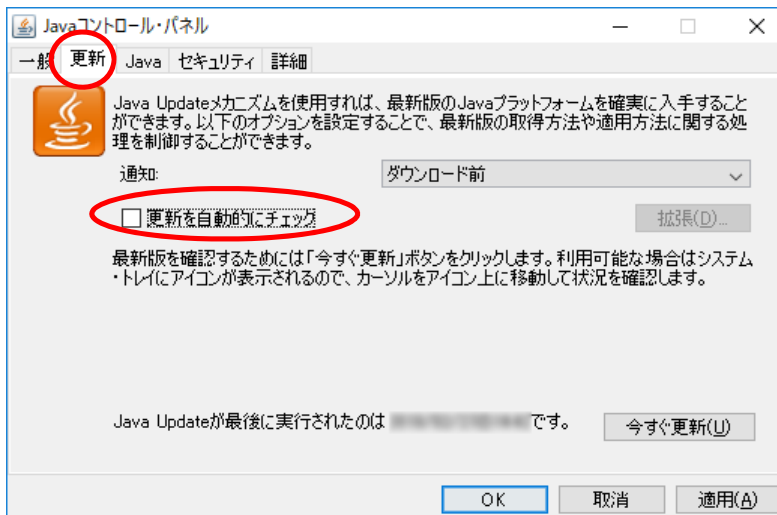
16 [OK]をクリックします。



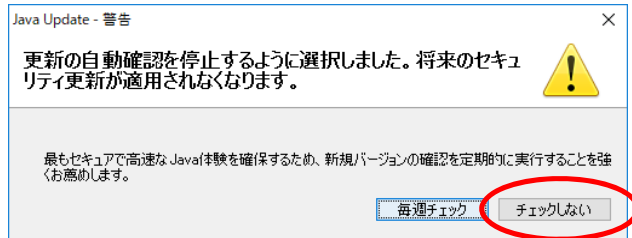
17 [×]をクリックします。



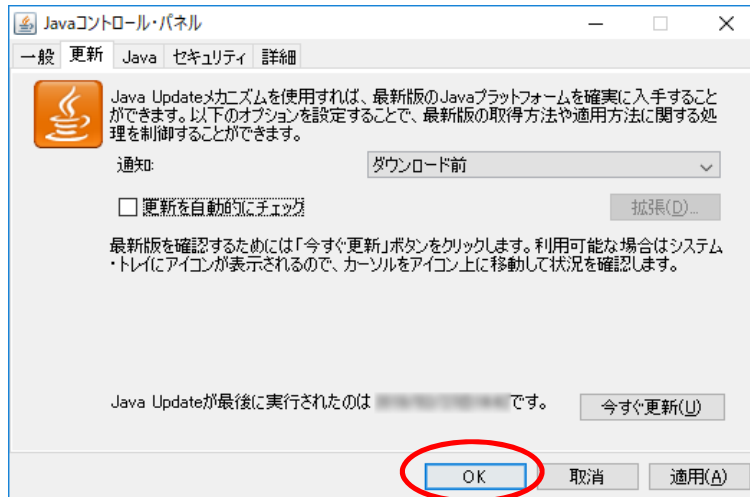
18 [更新]をクリックし[更新を自動的にチェック]のチェックを外します。



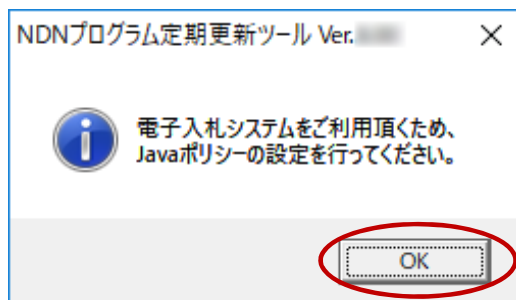
19 [チェックしない]をクリックします。



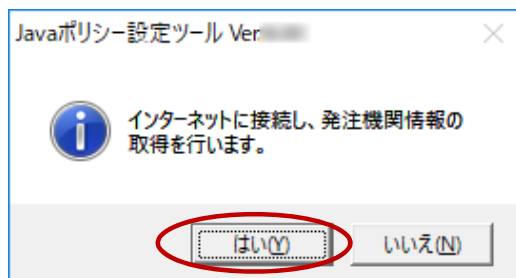
20 [OK]をクリックします。



21 下記メッセージが表示された場合は[OK]をクリックします。
※表示されない場合は『27』へお進みください

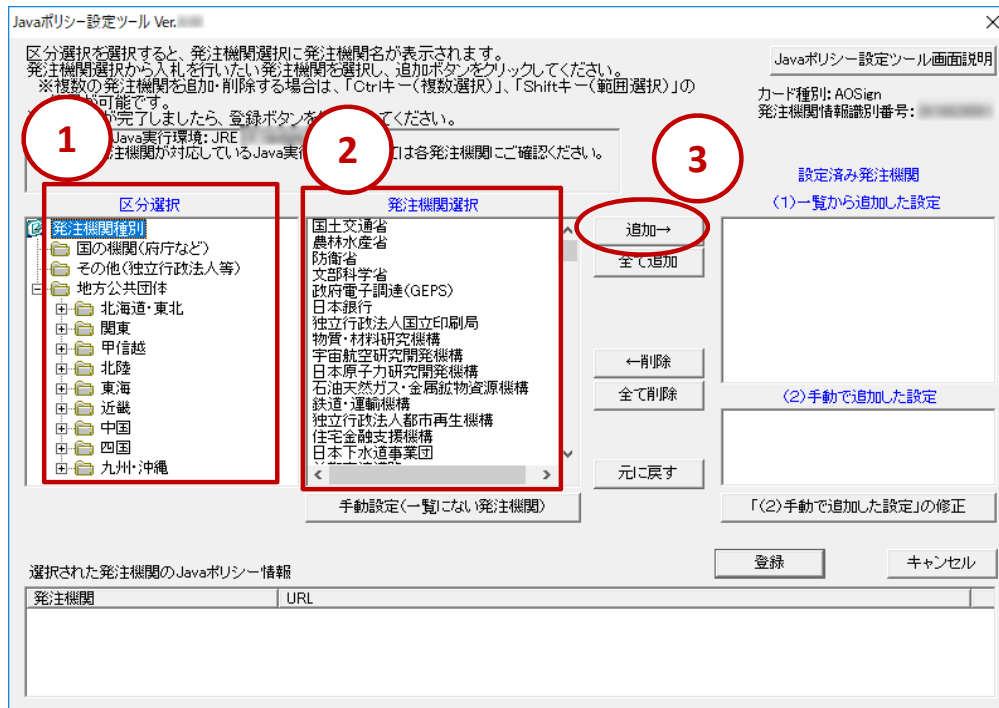


22 [はい(Y)]をクリックします。

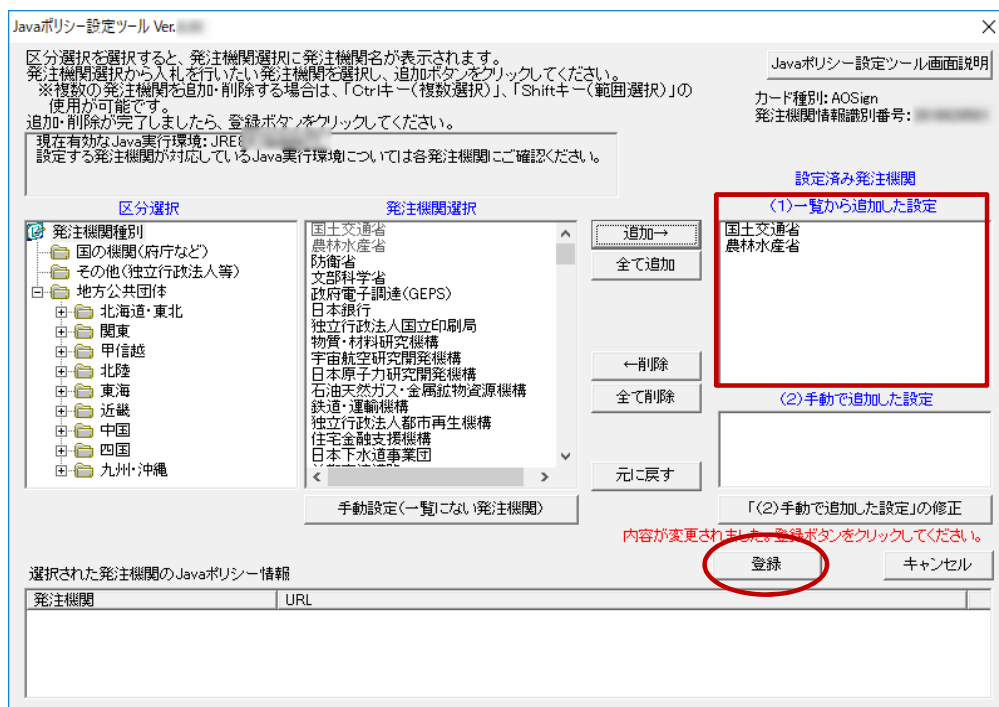


23 [区分選択]をクリックし、[発注機関選択]からご利用いただく発注機関を選択し、[追加]をクリックします。

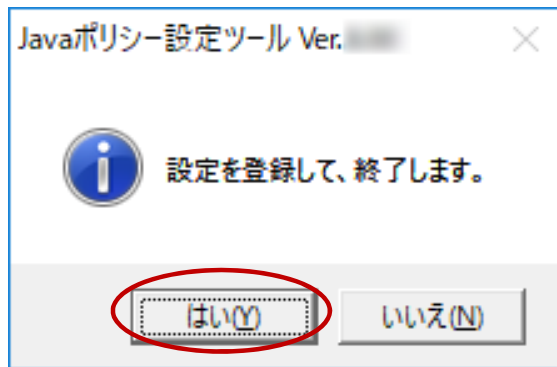
※複数の発注機関をご利用の場合は、それぞれ追加してください。



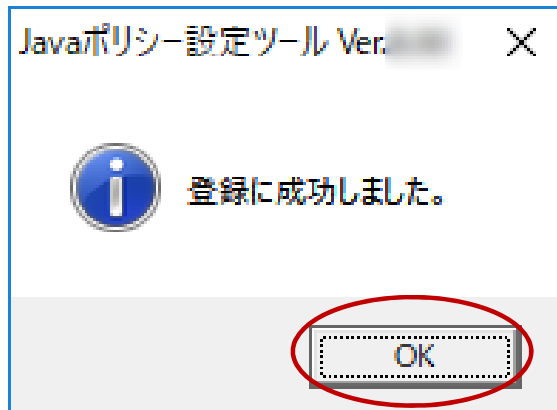
24 [(1)一覧から追加した設定]に必要な発注機関が追加されました、[登録]をクリックします。



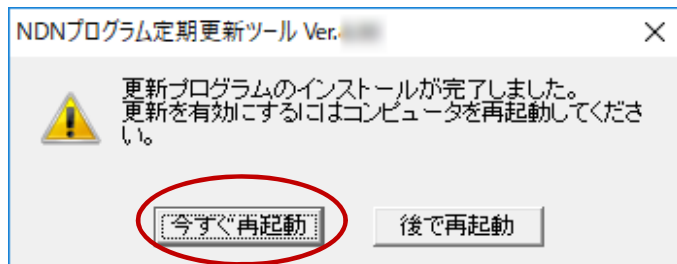
25 [はい(Y)]をクリックします。



26 [OK]をクリックします。



27 [今すぐ再起動]をクリックします。

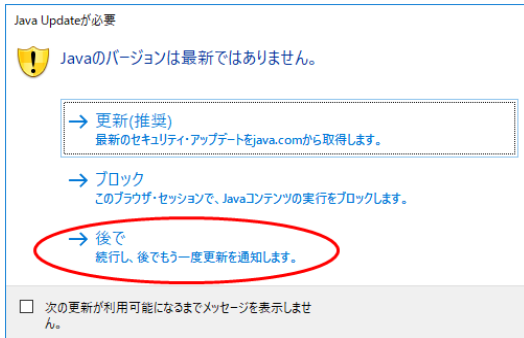


以上でJava実行環境（JRE）の再インストールは完了です。

Java実行環境（JRE）を再インストールした場合、発注機関の電子入札システムや当社の電子入札の環境確認ページにアクセスした際に以下のメッセージが表示される場合があります。

「Java Updateが必要」と表示された場合

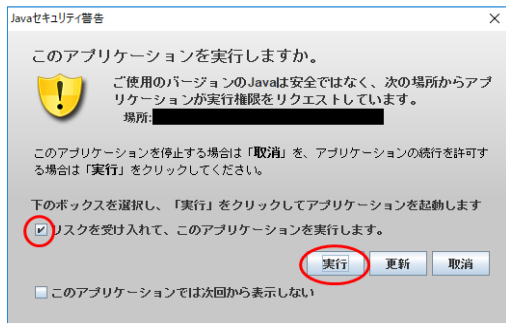
「後で」をクリックしてください。



※「次の更新が利用可能になるまで～」にチェックを入れた場合、以降この警告が表示されません。

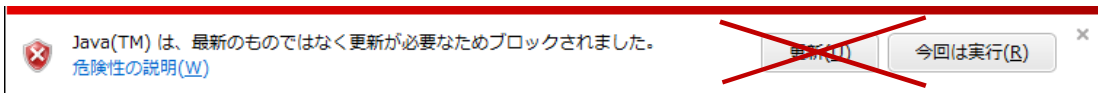
「このアプリケーションを実行しますか。」と表示された場合

「リスクを受け入れて～」にチェックを入れて「実行」をクリックしてください。
（「リスクを受け入れて～」が表示されていない場合は「実行」をクリックしてください）
※お客様の環境によってメッセージが異なります。



発注機関の電子入札システムで「Java(TM)は、最新のものではなく更新が必要なためブロックされました。」と表示された場

発注機関の電子入札システムで下図のポップアップが表示された場合、電子入札システムのページをブラウザの「信頼済みサイト」へ登録する必要があります。
「信頼済みサイト」の登録手順や登録するURLは利用先の発注機関へお問い合わせください。



※システムが正常に動作しなくなる恐れがあるため、『更新(U)』ボタンは押さないでください。